



公益社団法人芦屋市シルバー人材センター

はつらつ 芦屋

2020・1 No.29



ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/ashiya/>

芦屋市シルバー

検索

芦屋神社 しだれ桜
撮影 岡野 仲伸(会員番号1489)

TEL 0797-32-1414 FAX 0797-31-9223

2020年は【東京オリンピック】 56年前の1964年オリンピックの頃あなたは？



宮本 允子 (会員番号26)

56年前のあの頃、私は5歳を頭に3人の子育てと祖母の介護に明け暮れていました。

テレビの前に座る時間などなく、オリンピックでは開会式当日、秋晴れの空にブルーインパルスが描いた5つの輪が印象に残っている程度です。

2歳児と祖母の世話に手を取られ、上の子たちは放ったらかしでした。

初夏のある日、「奥さん大変よ！」と連れ

ていかれたのは、近所の広い苺畑でした。

5歳の娘が友達と2人で畑に入り苺を全部摘み取ってしまったのです。畝という畝に盛り上がった苺、イチゴ。真っ赤な物から未熟な物まで。踏み荒らした畑。

弁償金はナント、1万円也。夫の給料の3分の1。2軒で割っても5千円。

痛かった。

高橋 嘉子 (会員番号774)

第18回東京オリンピック 1964年・昭和39年・10月18日～24日

開通したばかりの新幹線で上京。国立競技場で一般の観客の一人として父、弟と一緒に観戦しました。ワクワクして楽しんだことには間違いありませんが、記憶が薄れてその時の陸上競技の種目等、残念ながら思い出せません…

選手出入口で出会ったスイスとフランスの柔道選手にサインをもらい一緒に撮った写真は今も手元にあります。他にも当時のグッズ類がいくつかあります。ただ、たまたま残っていたものが今やお宝?となりました。



東京オリンピックふろしき

まさか2回目の東京オリンピック!! 勿論チケット予約に挑戦しましたがハズレました。まだチャンスがあるようなので頑張ってみます。

服部 耀 (会員番号875)



日本泳法

昭和39年、出来たての新幹線に乗って東京へ。外国人に日本古来の泳法を見て貰おうという事になった。

岸記念プールで披露。私は手泳法で足に扇子をつけ濡らさぬよう、転体したり潜転したりする。

一人の外国人カメラマンが、よほど珍しく感じたのか、身を大きく乗り出して撮影を始めた。

プールへ落ちんばかりの体勢だった。ドボンと落ちたら私は演示を中断し助けねばならぬのか、それとも誰かが飛び込んで助けてくれるのか、ひどく迷ったのを覚えている。日本泳法は武芸の一つであり、いったん始めたらいい加減なところでやめるワケにはいかない。幸い彼は落ちずにすんだ。

私も責務を果たせた。私の秘やかな自慢でもあった。



あの頃 わたしは

吉崎 正俊 (会員番号1777)

1964年10月10日午後3時過ぎ、突如轟音が鳴り響きました。

空を見上げると5機の戦闘機が機体の後尾から青・黄・黒・緑・赤のスモークを噴出し、快晴の大空に旋回を始めるではありませんか。ブルーインパルスが五輪のマークを描いているのです。

この年の4月、社会人になった私が10月1日に開通したばかりの新幹線に乗って

上京し、銀座三越の屋上でオリンピックの開会式をテレビ観戦している時の開会セレモニーで、実物をはっきりと目に焼き付けることが出来た瞬間でした。

卒業と就職、私にとって人生の節目の1964年は新幹線開業・東京五輪・阪神タイガースの優勝と忘れられない出来事があった年になりました。

中嶋 壽雄 (会員番号1937)

あの頃、わたしは大学の漕艇部で明けても暮れてもボートを漕いでいた。

まだまだ封建的な風潮が色濃く残り、真夏でも練習中は一切水は飲めなかった。今は喉が渇く前に水分補給をと驚くべき世の中の変わりようだ。

4人姉兄の末っ子だった私は、もし「甘えたオリンピック」があったら金メダル確実の甘えたでひ弱な子供だった。

ボート部に入部して鍛えられ、耐えに耐えている時自分の中で一大転換が起こった。

「そうや！死ぬ気で漕いでダメだったら仕方ない。それでいいのだ！」ふっと心の声が聞こえた。青春の悩みや弱気は霧散した。

その日が私の人生の開幕日になった。

私にとって何にも勝る無形の「金メダル」である。



桜宮、銀橋をバックに。筆者、先頭(左)から3人目

中井 聰 (会員番号2187)

あの頃、私は米国シアトル市にいた。高校3年の夏休みのことである。今から60年前だ。

神戸の姉妹都市であるシアトルへの親善使節の1員として派遣された。

約1か月の滞在中、ホームステイ1週間、高校代表者会議に1週間、あと名所見学と移動であった。

滞在中、英語は半分以上わからなかったが、

笑顔とゼスチャーで補い、それなりに楽しく過ごした。乗馬や鉄砲撃ち、自動車運転、学校見学、教会礼拝、水泳、ダンスなど全てが面白かった。

大学受験を目指していた級友達とは違った世界を経験できたことは、全てが新鮮で、その後の私の人生に刺激を大いに与えてくれたと感謝している次第である。 完



あの頃 わたしは

籠谷 諭利 (会員番号2274)

学生時代住んでいた地域の修学旅行の定番は、小学が伊勢、中学が四国、高校が東京でした。

1964年は高校修学旅行の年。しかも10月で、オリンピック期間のど真ん中。東京はとても無理って事で、生徒で行先投票に。結果、信州に決定。当時としては珍しかったようです。

松本城・善光寺・浅間山・懐古園・リング

狩り…。中でも、アルプスの山々が輝いているのに感動。

六甲山とは全く違う山容に見惚れました。

その後、いっばしの登山家気取りをし、毎年アルプスの山々を訪れたのはこの修学旅行の影響。

東京オリンピックのお陰かな(^ ^)

徳家 雅子 (会員番号2698)

'64東京オリンピック…当時その渦の中にいたはずなのに、私には全く別世界のことだった。オリンピック選手としてこれに出場している先輩もいたし、グラウンドは陸上競技の練習場として解放され、世界的な選手達を目の当たりにすることもできたのに、全く関心がなかったのだ。まだ2年生だったので、週の半分を大塚で一般教養、残りの半分を幡ヶ谷



で専門科目という形で授業を受け、終わればクラブ活動という日々だった。

我が国唯一の舞踊学研究室がある大学に運よく進学でき希望がなかったのだが、現実とは思ひ異なり十分な環境とは言えなかった。それでも少しずつアメリカ等のダンスカンパニーの来日公演や、ワークショップなどが増えつつあり、お小遣いをこれに注ぎこみ、刺激的な体験を重ねることができたのは嬉しいことだった。色々な公演を観終わった後、友人と共に教授を囲んで時間の許す限り作品の感想や舞踊談義を重ねられたことも楽しく、まずまず恵まれた学生生活を過ごしていたのではないかと考えている。



入部 兼昭 (会員番号2804)

【1964年→中学3年生→高校受験→東京オリンピック→東洋の魔女→円谷、アベベマラソン→記念切手→東海道新幹線0系→高校】

中学3年生で受験勉強をすべき時になんとオリンピックが！親は「じゃあテレビは時間を決めて」とOKをしてくれたような。東洋の魔女の回転レシーブには驚きあるのみ、見事金メダル。裸足の王様、マラソン、エチオピアのアベベの強かったこと、あの走り終わった後の余裕、すごかった。円谷もよく走ったよ。競技場に入ってから抜かれ3位になったが銅メダルよくやった！

オリンピックの記念切手も収集マニアとして購入。オリンピックに間に合った東海道新幹線、デカイ鼻の0系は大好きだった。

志望高校にはめでたく合格！



オリンピック記念切手

「第3回シルバーオンステージ」(10/26)



「センター活動紹介パネル展」
市役所にて(9/17~30)



「第3回シルバーフェスティバル」
はつらつ館(11/16)



お餅つき



おぜんざいのふるまい

「清掃ボランティア活動」(10/5)



「街頭普及啓発活動」南宮町(10/15)



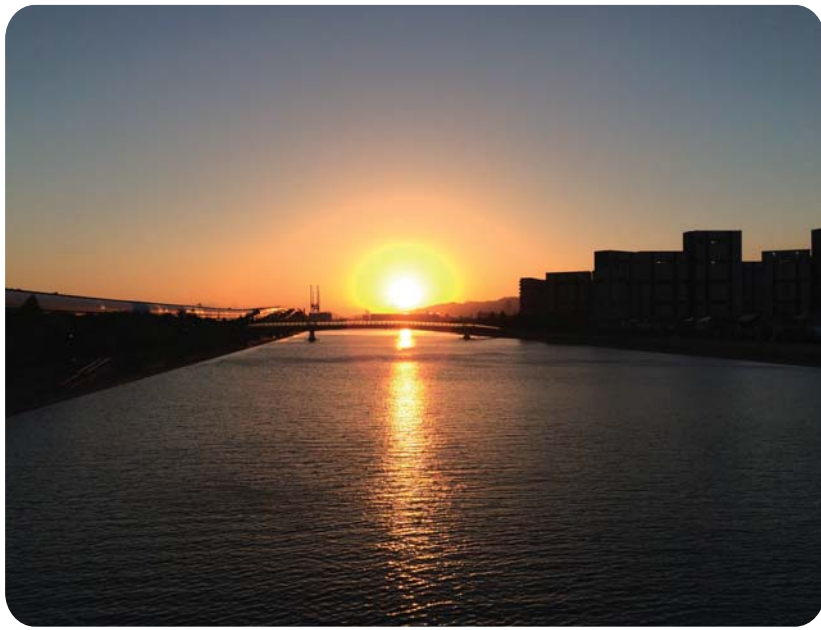
「兵シ協主催 事業推進大会 表彰者」(10/30)



盛り沢山な秋の行事

「救急救命講習会」(11/29)





芦屋の🎯が好き

芦屋キャナルパークの サンセット

尾地照男 (会員番号 2732)

私はシーサイドの浜風町に住んで37年になります。芦屋浜もこの間に南芦屋浜の竣工や阪神高速湾岸線の開通を経てこの界隈は素晴らしい環境になりました。

このエリアでは多くの方がウォーキング、ジョギング、魚釣り、マリンスポーツ等を楽しみ、今では市民の憩いのゾーンになっていきます。私は週末恒例のサイクリング途中、浜風大橋から眺める夕日がとても好きです。

六甲山に沈む太陽と水面に映る夕日、シーサイドの高層住宅、阪神高速道路の高架橋、自然と人工物が融合し独特のハーモニーを醸し出し美しい景観です。



Aランチ (1,200円)



Bランチ (1,500円)



芦屋のグルメ

真髓を表す言葉です。店長は四川料理を修行されホテルの料理長を務めてこられました。四川料理は辛いと言われています

茶屋之町桜通り中ごろ、半地下の店です (JR芦屋駅から徒歩5分、阪神芦屋駅から徒歩7分)。千利休の弟子『山上宗二』に「一期に一度の会」からの命名と承りました。茶道のお客を「もてなす」

中華料理
菜美食美 いちごいちえ



落ち着いた雰囲気の内

が子供でも食べられるように工夫し家族づれや女性客が多い。淡路産の新鮮野菜をたっぷり使った料理の数々、いずれも優しい味でした。お酒も吟味し酒蔵から取り寄せています。若い料理長と女将さんの息の合ったおもてなしについて長居をしてしまおう。

取材 岩崎 準一

- ◎ 定休日 水曜日
- ◎ 営業時間
昼 11時30分～14時
夜 17時～22時30分
- ◎ ランチの他に
コース料理有
- ◎ ランチ、コース料理とも
ご飯お代わり自由
- ◎ 飲み放題あり
- ◎ 貸切可 20名～35名
- ◎ 予約承ります

芦屋市茶屋之町5-12
☎ 0797-78-6322

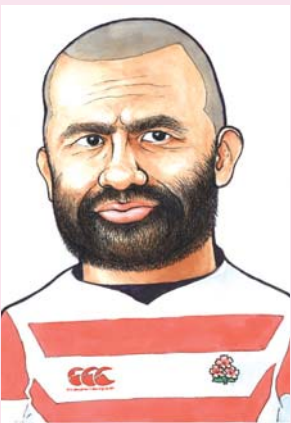
似 顔 絵



樹木希林さん



吉野 彰さん



リーチマイケルさん

映画、テレビ、コマーシャル等多数の作品に出演。自然体で生きられた樹木希林さん、リチウムイオン電池の基本技術を開発し、ノーベル化学賞を受賞された吉野彰さん、二〇一九年、フットボールワールドカップ日本大会で、日本代表の主将を務め、大活躍したリーチマイケルさん。

澤田 邦洋 (会員番号20008)

紀行 ☆ 寄稿 ☆ 寄行 ?

ドロミテを歩く

黒住 敬一郎 (会員番号1653)

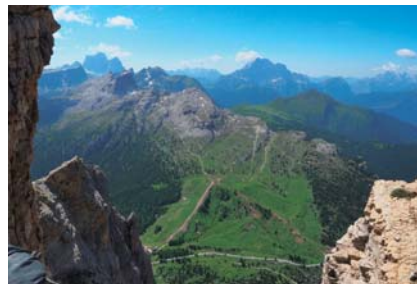
1. ミズリナ湖とソラピス山
 冬季オリンピック開催地のコルチナ・ダペンツォからほど近いところで山岳写真家白川義員は



2. トレ・チーメ・ディ・ラヴァレード
 三つの岩峰の周りをトレッキングした。ルートが発見されるまでは「羽がなければ登れない」と言われた垂直の壁を4時間かけて登る点のように見える3人組の姿があった。初級レベルのコースとは



3. 第一次世界大戦の戦場
 ラガツォイ小屋の付近には岩壁のあちらこちらに四角い穴があいていた。山を越える代わりにトンネルを掘って進軍したものである。絶景ポイントにある前線基地跡を見学した。ここは南チロルと言われる地域で第一次世界大戦まではオーストリアの領土だった。住民がオーストリアハンガリー帝国の兵士として



4. 乳房雲(マンモクラウド)
 4日目のセルヴァ・デ・ヴァルガルデーナで雷雨の後に現れた雲に仰天した。大雨や雹或いは竜巻の前兆として稀に発生するそうだ。パーティーの中に81歳と85歳の男性がいた。二人とも重量級のフルサイズ一眼レフカメラを持ち歩く。一人は「あーしんど 歳やなあ」と言いながら次はパタゴニアへ撮影旅行に行く



ワーク・ア・ラ・カルト

子ども安全見守り業務

「おはようございます」
 「おはようございます」
 「ここに名前を書いて下さいね」
 小さくうなずき鉛筆をとり記名。
 リュックを放り出して、運動場へ駆け出していく。
 こんなやりとりで見守りの1日が始まります。

市内公立小学校7校で土曜日の9時から12時までの3時間、校庭開放見守りのお仕事で、1校に2人が交代で担当しています。



9時早々から、時には10時半過ぎ頃にやっとポツリと一人とか、日によってバラバラですが、家族揃って来られたり、友達と待ち合わせしていたり、学童さん達とか。ずっと一人遊びをしている子が居ると、友達、いないのかな・・・来ないだけかな？
 なんて「ほっといて」と言われそうな事を考えたりして。

冬の寒い日は、元気に駆け回る姿を見ているだけで私も暖かくなるような気がしますが、暑い日には（夏休み中はありません）熱中症など、着任前には消防署で救命の講習を受けましたが何が起るかハラハラドキドキです。

不審者の侵入の心配等、気を緩める事はできませんが、私にとってはエネルギーの塊のような子ども達から、新鮮なエキスをいただけるありがたい時間です。 感謝

吉田 照子（会員番号2842）



僕のおじいちゃん

森本 瑛さん(小6)

石本 英一さん 孫
 (会員番号1721)



瑛(あきら)さんと妹の千沙(ちさ)さん

ぼくのおじいちゃんは、とても優しいです。例えば、習い事の場所まで、ビールをがまんして車に乗せて行ってくれたり、お小遣いをくれたりします。ぼくがなにかやらかして、家族におこられても、なぐさめてくれます。

毎日、夕方になると家に来て、一緒に夕食を食べます。その時に、1日の出来事や、お仕事のことなど、いろいろな話を聞かせてくれます。おもしろい話や、つかれた話。時々「ジャレも言います、魚のハマチがでた時は、ハマチ、ハウマッチ(How much?)」とお決まりのセリフを言います。

ぼくは、おもしろくて、優しいおじいちゃんが大好きです。これからは、長生きして、大きくなったら一糸者にお酒を食欠みたいです。 あきら

元気の秘訣

いつも笑顔を忘れず

田村 芳雄会員の巻
(会員番号1747)



仕事をと
言ってく
ださるそ
う。仕事
が終わり
たらお茶
でもと声
をかけて
いただき、
故郷のお
話や写真

健康に気を付けるようになったのは、孫娘さんが誕生した時に、ご家族からタバコもお酒もダメと言われたからと。そのお孫さんも今は大学4年生になりました。もともとは尼崎に住んでおられたが娘さんの勧めで芦屋に引越し、シルバーに入会。

現在82歳になり、リハビリを兼ねて定期的に病院には行かれています。定期健診でも何処も悪いところがなく、シルバーで仕事をしているのが元気の秘訣と言われる。

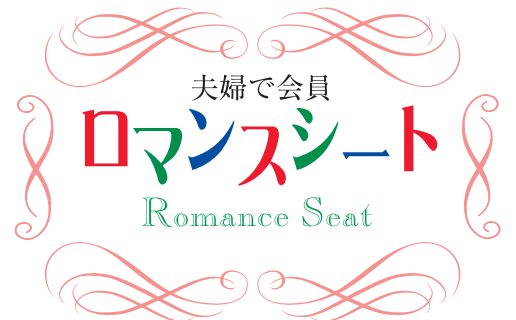
お会いした時もお仕事帰り。シルバーに入って、初めて除草班の仕事をやるようになった。約10年続いており、今まで携わった庭の様子は全て頭に入っている。依頼先の方々は付き合っても長く、今は暑いから11月でいいよ、木陰があるからそこで

などを見せてくださることも。嫌なことは一度も言われたことがないそうで、その様なお付き合いも元気の秘訣だとも。

仕事後の楽しみはお酒かと思いきやコーヒーズリ。また昔は梅酒だったのが今は奥様で作って下さる梅酢だとか。お仕事先にも仕事道具を入れる玉袋に入れて持って行かれています。暑さ対策の空調服を着ておられたが、この飲み物もその一つで、口がさっぱりすると。梅酢のお陰で体重も55kgになり、今もキープされている。

故郷のお話や、子どもの頃の思い出話も聞かせてくださいました。が、「住んで居る所で仕事ができるのは最高です。仕事先にも恵まれています。」と言われ、感謝する気持ちも元気の秘訣と納得した。

取材 加古 良子



「私たち似た者同士」

吉崎

正俊(会員番号1777)
節子(会員番号1745)

♪暑さの残る午後、シルバー人材センターの1室で、笑顔の優しいお2人に伺った。

♪会員になられたのは

お2人での芦屋在住が半世紀、



芦屋の街に何か恩返しをしたいと、正俊さんは放課後教室の立ち上げからこれまで1日も休んだ事がなく、

小学生に算数を。節子さんも、外国人に日本語教師をされていた経験から英語の指導に当たられている。また近くのデイサービスでも正俊さんは趣味の折り紙を、節子さんは傾聴で活動されている。

♪写真のお2人は鎌倉で金婚式のお祝いをプレゼントされた時の物で、遠く離れていても、3人の息子や孫達が招待してくれてとても嬉しい。これからも2人で楽しく健康で過ごせたらいいね と言われた。

♪思い出のエピソードは単身赴任で10年余り東京にいた頃、節子さんが良く会いに来てくれたが、何時も鈍行列車で上京。それは車窓からの景色を眺める事が楽しみだったから。一方、正俊さんは学生時代からの趣味が鉄道の駅名を覚える事だったので、時計を見ては今頃どの辺りかと楽しみに彼女の到着を待った。

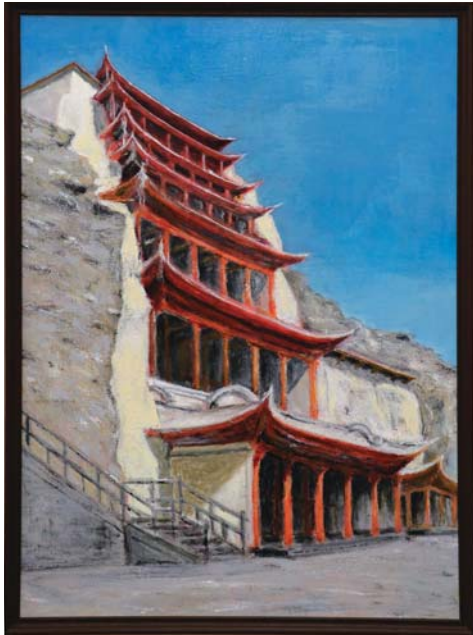
最後に、「私たちは似た者同士なんだよ。何事にも2人で勉強し、新しく資格を取り挑戦したい。そして沢山の人と出会い教わる事がこれからも2人の幸せに繋がると・・・」と締めくくられた。

取材 久我 和子

第33回 芦屋市民絵画展



恒例の芦屋市民絵画展が昨年10月に市民センターで開催され、お2人の会員が入賞されました。



ばっこうくつ
莫高窟 (中国・敦煌)

北条 時雄 (会員番号1194)



明るい未来

前田 穰 (会員番号1488)



皆さんは、人気長寿番組「笑点」で話題になった「18才と81才の違い」をご存知でしょうか？

これを真似て私たちも考えてみました。

☆ あのひとの暮らしを夢見るのが18才、
この人の介護に疲れ果てるのが81才

☆ 一度見た彼女の顔は忘れない18才、
長年連れ添った女房の顔も忘れる81才

会員番号 26 宮本 允子

☆ 愛を確かめ合うのが18才、生存を確かめ合うのが81才
☆ 人の言うことを聞かないのが18才、
人の言うことが聞こえないのが81才

会員番号1352 大内 孝子

☆ 就活するのが18才、終活するのが81才
☆ パンツと言うのが18才、ズボンと言うのが81才

会員番号1937 中嶋 寿雄

☆ お説教を聞きたくないのが18才、
お説教を聞かせたいのが81才

☆ 周りのことを気にしないのが18才、
回りから相手にされないのが81才

会員番号3068 高橋 睦美

後期会員研修バスツアー

晩秋の神宮寺と塗り箸研磨体験

11月26日、伊藤市長や事務局の方の見送りを受けて、若狭方面へバス2台で出発。途中しぐれて雨もパラパラ来たが幸いバスの中でのこと、山々の紅葉を楽しみながら目的地へ。

今回の研修DVDは悪質業者の視点からどういう状況になると高齢者をだましやすいか、見方を変えた内容で私たちに注意喚起をするものでした。

小浜市の神宮寺を拝観。毎年3月2日に奈良東大寺二月堂に香水を送る「お水送り」の神事を行い、更にこの寺は「神仏混淆しんぶつこんごう」という日本の神社とお寺が一緒にあること等法話を聞き、しめ縄と仏像の組み合わせに納得。せくみ屋での食事、入浴やカラオケを楽しんだ後、多種多様な箸が並んでいる箸匠せいわで箸の研磨体験をし、世界に一つだけの箸をつくりました。



本堂(国重要文化財指定)の前で集合写真



【25年の時と一緒に】
十田 純雄 会員番号(179)

93歳の年齢を感じさせない秘訣はバスツアーにありました。会員だった奥様の勧めでバスツアーに行くために会員登録をしたのが始まり、その後長年にわたり就業しました。そんな十田さんの楽しみ方は、色々な人と食事をしながら楽しくお喋りをして観光をすること。

過去に行ったツアーで特に良かったのは法隆寺と大原美術館。大先



紅葉



若狭塗の箸



研磨体験

輩の一言は、足が動く限りツアーに参加したいとのことでした。

【初参加です】
升本 恭子 会員番号(3255)



この10月にセンターに入会。友人の誘いでバスツアーに初めて参加。昼食の事を伺

うと種類もたくさんあり、特にのごし滑らかな茶わん蒸しが良かったとのこと。箸の研磨体験も楽しかったと笑顔で話されました。

取材 廣田 輝代

編集後記

2020年、今年は東京オリンピック開催の年。

56年振りの東京オリンピックという事で盛り上がりつつありますが、真夏の開催であり、暑さ対策効果の程はいかがか?と心配になります。

さて前回の東京オリンピックの1964年当時の日本は高度成長の時代であり国民みんなが、明日に夢を見た時代でした。

翻って、現在は少子高齢化、格差社会、温暖化による気候変動の自然災害等さまざまな社会、環境問題を抱えており、将来に對する不安が増すばかりです。

高齢化について言えば、日本は昨今、人生一〇〇年時代と言われていますが、ちなみに前回の東京オリンピックの56年前に日本では一〇〇歳以上の方は約150人、現在は7万人以上になっ

ています。一〇〇歳から見れば私たちはまだまだ「若輩者」です。

明日を夢見て、はつらつと仕事で汗を流し、趣味に没頭したいものです。

尾地 照男

はつらつギャラリー

折り紙と私



約20年前にイギリスで研修する機会があり、その時、英文の折り紙の本を一冊持って行きました。帰国後、勤務校の生徒たちと一緒に月一回のボランティア活動で、季節の折り紙を用いたカレンダー作りを始めました。この活動がきっかけで私自身が折り紙の世界にハマリ、15～16年になります。



20年目に入った芦屋市内の老健でのボランティア活動
平成30年分 折り紙カレンダー作り (実物はB4サイズ)



「川崎ローズ」



「日本の12カ月」



「たとう折り」



芦屋市立小学校 キッズ スクエア
11月分作品見本 (実物はA4サイズ)



折り紙絵本作りの様子

たかが折り紙、されど折り紙。
一枚の折り紙から笑顔と夢の世界が
広がります。

増田 淑子 (会員番号 2835)